

いんさい

No.190

2019. 11. 15

議会だより



えいっ! やあっ! とうっ!

(空手チーム練習風景 / 小倉台小学校)

平成30年度 決算 目玉事業

こんな事業を実施しました。

子育て支援の充実

- 民間保育園の助成・保育委託、保育園運営.....約28億6,157万円
- 保育園施設改修.....約3,780万円
- 学童クラブ.....約1億5,110万円
- 子ども医療費助成.....約4億5,474万円
- 高校生等医療費助成.....約3,319万円

平成30年度 一般・ 総額約506億

健康づくりの推進

- 乳幼児健診・出産育児支援.....約9,477万円
- がん検診.....約1億371万円

鳥獣被害対策

- イノシシ等対策.....約4,650万円

教育環境を整える

- 小中学校管理運営.....約4億1,052万円
- 小中学校施設整備改修.....約7億4,443万円
- 国際理解教育推進.....約6,551万円

福祉事業の推進

- 障がい者自立支援.....約15億7,143万円
- 障がい者サポートセンター整備.....約1億71万円
- 高齢者在宅福祉.....約1,183万円

道路網の整備・維持管理

- 市道松崎・吉田線整備.....約6,974万円
- 市道竜腹寺線整備.....約418万円
- 市道山田・平賀線改良.....約1億460万円
- 一般市道維持管理.....約4億9,184万円
- 市道00-107号線整備.....約759万円
- 市道00-026号線延伸区間整備.....約1億9,622万円

環境負荷の低減

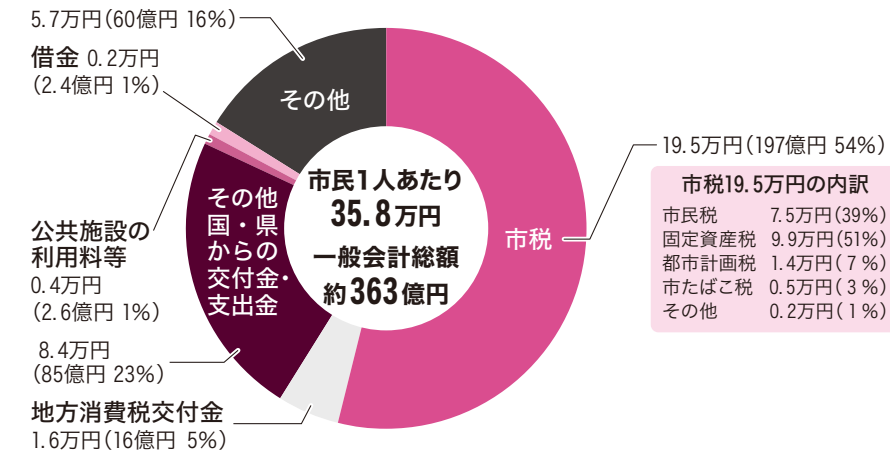
- ごみ減量化・再資源化推進.....約1,980万円
- 不法投棄対策.....約452万円

特別・水道事業会計 円の決算を認定

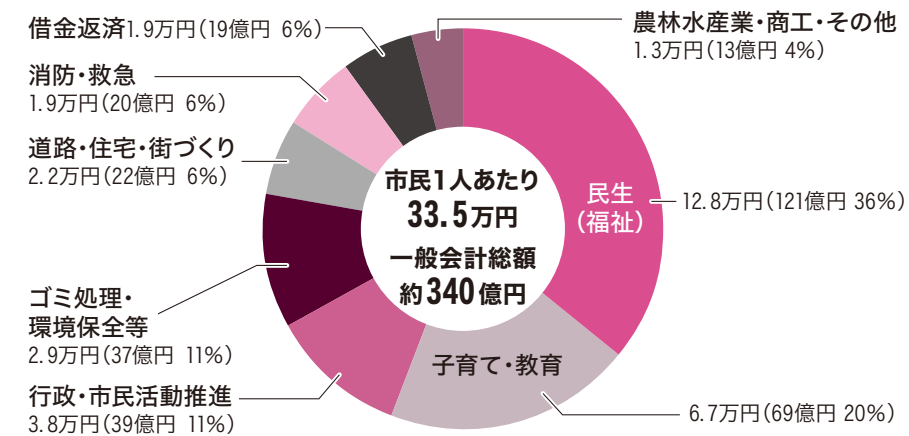
印西市の収入と支出

●市民1人あたりの決算額 (カッコ内は総額、構成比)

市の収入



市の支出



■各会計の歳入歳出決算額

区分		歳入	歳出
一般	一般会計	36,313,433,041	34,012,147,016
特別	国民健康保険	8,741,130,841	8,698,365,287
	下水道事業	1,558,231,955	1,474,957,087
	介護保険	5,126,058,286	4,877,350,136
	後期高齢者医療	782,350,263	769,680,879
	計	16,207,771,345	15,820,353,389
水道事業	水道事業会計	714,218,256	730,309,772
合計	合計	53,235,422,642	50,562,810,177

いんざい 議会だより No.190



- P 2 ~ 30年度決算目玉事業
- P 4 30年度決算の審査
決算審査特別委員会
- P 5 補正予算の審査
予算審査常任委員会
- P 6 9月定例会
質問者一覧
- P 7 ~ 一般質問
会派代表質問6人
個人質問11人
- P 18 討論
- P 19 議案と審議結果一覧
陳情
- P 20 ~ 各常任委員会の審査
文教福祉常任委員会
総務企画常任委員会
建設経済常任委員会
- P 23 北総地区市議会正副議長
会議員研修会報告
行政視察に来庁
編集後記
- P 24 市民の声
次回定例会のお知らせ

決算審査特別委員会

平成30年度一般会計・特別会計・水道事業会計合わせて6会計について、決算審査特別委員会を設置し、9月10日から9月13日までの4日間で審査を行いました。

審査の結果、6会計の決算を認定すべきものと決定しました。その質疑の一部を要約して掲載します。

病児・病後児保育事業業務委託

問 30年度の実績は。

答 印西総合病院に委託しており、開所日数292日、事前登録者数736人、利用者数435人であった。



補正予算の審査

予算審査常任委員会

印西市一般会計補正予算

(第3号) (可決)

歳入歳出それぞれ10億7960万3千円を追加し、予算総額を381億1471万3千円とするもの。

主な補正内容と質疑について

幼児教育・保育の無償化に伴い新たに生じる市の負担に対する補填財源として、子ども子育て支援臨時交付金3億8965万1千円を増額補正
問 民間保育園の保育委託に関する経費4206万7千円の増額内容は。

答 子ども・子育て支援法の改正に伴う幼児教育・保育の無償化に要する経費。①私立保育園の副食費免除対象者の施設型給付費の加算分162万円。②保育料が無償化対象となる市内外の13園に無償化分の運営費増加分39

災害復旧事業

問 予算に対する執行率が3割程度となっているが、どのようになっているのか。

答 29年の台風21号の影響により、市道の復旧事業についての30年度の支払いは、工事費の前払いのみで、約2750万円は事故繰越とし、令和元年度の工事終了後に支払っている。

地域包括支援センター

問 地域包括支援センターの実績を伺う。

答 市内に5カ所配置している。社会福祉士、保健師、主任介護支援専門員等の専門職を配置し、約8400万円を支出している。

29年度支払い未執行の処理

問 29年度で未執行のものを30年度で支払っているが、どのような処理を行ったか。

答 教育委員会と財政課において協議を行い、支払遅延法の関係もあって早急な支払い、かつ、至急な手続きである予算の流用を行い、対応した。

82万6千円。③副食費免除対象者の施設型給付費加算額の増額分62万1千円をそれぞれ増額補正するもの。

旧印西消防署跡地整備工事に係る経費277万7千円を増額補正

問 増額補正の事業内容は。

答 旧印西消防署跡地の整備工事であり、約3千平方メートルの内、約1620平方メートルの土地について碎石敷きの駐車場の整備を今年度予定している。当初予算で整備工事分の請負費を計上していたが、経費に積算が足りない部分があった。今年度、現地を確認したところ、ぬかるみがあり、新たに工事車両の出入り用鉄板を敷く等の追加経費を見込んだ。



防犯カメラ保守点検業務・設置補助事業

問 現在の設置台数は。

答 30年度現在で44台となっている。

問 防犯カメラ設置補助の実績は。

答 30年度、吉田地区に4台設置した。



ごみ減量化・再資源化事業

問 30年度における排出量等の数値での実績を伺う。

答 29年度の排出原単位と比較して、家庭ごみ669gで7g減、事業系ごみ195gで8g増となっており、30年度は864gで1g増である。事業者数

株式会社日本デキシー跡地を8億5035万1千円で購入を見込み土地開発基金を増額補正

問 都市計画総務費の中の繰出金約8億5千万円の用途及び積算根拠は。

答 木下駅南側の株式会社日本デキシー千葉工場跡地約3万2千平方メートルの土地を印西市土地開発基金により取得するため、基金に追加して積み立てるための経費とした。不動産鑑定による鑑定額を元に単価2万6530円、10筆で積算している。

問 一般会計の公有財産の取得ではなく、基金への繰り出しとしたのはなぜか。

答 本件の土地は、都市計画道路用地及び地域のにぎわいの創出や利便性の向上に資するものである。このことから、印西市土地開発基金にて取得し、用途が決定した後に基金から買い取る手法をとりたいと考えている。

の増が影響したものと評価している。

実質収支比率

問 30年度の決算カードの実質収支比率9.9%をどのように捉えているか。

答 速報値であるが、千葉県内で上から3番目であり、市としてそのように考えている。

ふれあいバス運行業務委託

問 ふれあいバスの利用者数と運賃収入について、29年度と比較して伺う。

答 29年度と比べて、7824人増加し、25万4248人で、運賃収入は61万4902円増加し、1918万2062円であった。

水道事業会計上の構造的な課題

問 高く仕入れて低い価格で提供しなければならぬ現状において、どのように30年度に対応したのか。

答 構造的なものをかえるという意味で、広域化ということを現在検討しているところである。

市民課及び国保年金課の窓口改善計画策定の検討経費、540万8千円を増額補正

問 具体的に何を検討するのか。

答 ①会議の開催や業務計画書の作成、②来庁者の動線調査、職員へのヒアリングなどの現況調査、③窓口改善に向けた要件の整理や分析、④窓口レイアウトの提案、⑤什器整備計画、設備改修計画の検討を予定している。

印西市下水道事業特別会計

補正予算(第1号)(可決)

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ3938万5千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ18億332万1千円とするもの。

印西市介護保険特別会計

補正予算(第2号)(可決)

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ2億6316万4千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ54億872万7千円とするもの。

我が市政を問う

9月定例会

9月定例会は、8月30日から9月30日までの32日間、開催されました。市長提出案件は議案23件、認定6件、報告3件、同意3件、諮問2件、委員会提出議案は1件で、それぞれ慎重な審議が行われました。審議結果は、19ページに掲載しています。

問 総合計画第2次基本計画の状況は

答 ほぼ計画どおりである

「至誠」藤代 武雄 議員



質問 市は、印西市総合計画に基づき、平成28年度より第2次基本計画を実施中である。まちづくりの基本目標として掲げている6つの基本目標に対して、現状と課題、今後のの方策を問う。

市長 「生活環境」の分野の取り組みとして、「印西市環境基本計画」に基づき環境の

野は、農地の基盤整備事業に対する支援や担い手育成等、農業の振興、商工業振興を図っている。ほぼ計画どおりだが、近年増加傾向にあるイノシシへの対策をさらに強化している。

「教育・文化」の分野は、「印西市教育振興基本計画」等に基づき施策を行っている。概

保全に関する各種施策を推進している。概ね計画どおりに進められていると施策評価している。

「健康福祉」分野では、「印西市地域福祉計画」に基づく子育て支援、高齢者福祉、障がい者福祉等に関する施策を推進している。「高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進」の施策が、計画をやや下回っていると評価している。

ね計画どおり進めているが、「グローバル化に対応した多文化共生社会づくりの推進」の分野は、やや計画を下回っている。英語教育、学校適正規模・適正配置等重要な施策は、今後とも推進していく必要があると考えている。

「都市基盤」の分野は、「印西市都市マスタープラン」等に基づき、千葉ニュータウン区域の土地利用の誘導や駅圏における都市機能の強化、公共交通の充実、利便性の向上の為に施策を推進している。ほぼ計画どおりだが、公共交通の充実、利便性の向上や都市基盤施設の老朽化対策などは、継続して取り組みを進めていく必要がある。

「住民自治・協働・行政」の分野は、市政への市民参加の推進、地域コミュニティ活動の推進、行政サービスの見直しや窓口等の充実、健全で安心な財政運営の推進を行っており、ほぼ計画どおりである。

一般質問

令和元年第3回定例会では9月2日から5日間、17人の議員による会派代表質問・個人質問が行われ、市政全般に対して活発な議論が展開されました。ここではその一部を掲載いたします。この掲載記事は、各議員本人が作成したものです。

《一般質問とは》

議員が市政の方針や考え方を市長などに聞くものです。

会派代表質問

- 1. 至誠 (藤代 武雄) P7
- 2. 創進 (増田 葉子) P8
- 3. 響(ひびき) (玉木 実) P9
- 4. 新政 (軍司 俊紀) P10
- 5. 公明党 (浅沼 美弥子) P11
- 6. 日本共産党 (山田 喜代子) P12

個人質問

- 1. 近藤 瑞枝 P13
- 2. 海老原 作一 P13
- 3. 松尾 榮子 P14
- 4. 藤江 研一 P14
- 5. 松本 有利子 P15
- 6. 小川 利彦 P15
- 7. 梶原 友雄 P16
- 8. 米井 重行 P16
- 9. 櫻井 正夫 P17
- 10. 伊藤 真一 P17
- 11. 柿原 健一 P18



問 ふれあいバスの大幅見直しを期待

答 先進事例を参考に研究する

「創進」 増田 葉子 議員

質問 地域公共交通会議が招集され、「ふれあいバス」の見直しがいよいよ本格化する

と期待される。会派「創進」では、先ごろ愛知県豊田市を視察した。豊田市の事例をもとに、今後のふれあいバスの方向性を伺っていく。

豊田市のコミュニティバスは、結節点をシャトルでつなぐ基幹バスと、結節点を中心に地域内をめぐる地域バスのネットワークで成り立っており、印西市のような「循環ルート」を採用していない。「循環ルート」はすでに限界と思われるが、今後どうなるのか。

一クの特徴は認識している。どのような効果をもたらすか等、研究していきたい。

再質問 豊田市では、合併の際に「サービズレベル」と、「市民一人あたりの財政負担」がまず設定された。豊田市のサービズレベルの基準は、一時間に1本以上、朝6時から夜10時までの運行、運賃は距離によって100円〜700円で、基準よりも高水準なサービズは通勤通学時間帯は一時間に3本などとなっている。また、市民一人あたりの財政負担も2300円と、サービズの水準を市民にわかりやすく示している。印西市の

市民一人あたりの財政負担は1600円だが、どの程度までの財政負担を考えているのか。

答弁 公共交通の充実には、ある程度の財政負担が必要。類似団体等の状況を研究していきたい。



【東ルート】 小林・本笠支所・平岡循環ルート
【中ルート】 別所・牧の原・高花循環ルート
【西ルート】 永治・木刈循環ルート
【南ルート】 千葉ニュータウン循環ルート
【布佐ルート】 市役所・千葉ニュータウン中央駅北口
【印備・本笠支所ルート】 印備支所・本笠支所・牧の原循環ルート



令和元年10月1日
改正

再質問 サービズレベルをわかりやすいように市民に約束してほしいが、見直して明確になるのか。

答弁 サービズレベルをどのように設定し、表記していくか現段階では未定である。

再質問 豊田市では、基幹バスの運行はプロポーザル入札で事業者を決めている。ふれあいバスではそのような手法は考えられるか。

答弁 道路運送法の許認可関係の調整や運行事業者との合意形成等が必要であり、現在の状況等を踏まえ、先進地の事例等を研究していきたい。

会議録がインターネットで閲覧できます。



お知らせ

問 森林環境譲与税の活用は

答 森林整備の促進に努める

「響(ひびき)」 玉木 実 議員



スによると、23名である。

再質問 過去5年間の就労人口の推移については。

答弁 9経営体から11経営体となったが、ほぼ横ばいである。

再質問 山林整備が不備の為に、荒地や山林に竹林が入り込み、筍が猪の餌となっている実情をどう思っているのか。

答弁 指摘のとおりと認識している。

ているか。

答弁 広報いんざい、市のホームページにて周知している。

再質問 今年から予算化した森林環境譲与税の活用についてはどうか。

答弁 森林整備の促進、担い手の確保・育成、木材利用の促進を考えている。

再質問 これまでの答弁では、これを単なる基金としてしか考えていないような答えだが、もっと工夫すべきではないか。

答弁 具体的な検討内容としては、山林所有者へのアンケート、林業従事者の育成、安全講習会や林業体験教室を検討している。

質問1 地球温暖化対策の一環として、林野庁はまず自治体に森林整備事業費として、森林環境譲与税を交付した。また、林業人口の高齢化や減少化は、荒れ続ける山林を整備しなければならぬとして取り組んだ。市内の林業人口は何名か。

環境経済部長 農林業センサ

市内の森林は2348ヘクタールとなっている。個人所有の民有林であるから、整備状況の把握が難しい。この2年間で県の森林整備事業補助金の活用は1件、面積0・87ヘクタールの実施である。

再質問 森林整備に係る県の補助金の活用は、あまりに少なすぎるが、周知徹底はされ

質問2 市内の市街化調整区域と市街化区域の割合は。

都市建設部長 市街化区域は1907ヘクタール約15%である。市街化調整区域は10473ヘクタール約85%を占めている。市民の声を聴いて、都市マスタープランの策定を進めていく。



お知らせ

令和元年第4回定例会で予定されている一般質問は、11月22日(金)以降、ホームページに掲載します。

問 北総鉄道の運賃是正を

答 実現に向け取り組んでいきたい

「新政」軍司 俊紀 議員

質問 北総鉄道では今年度の株主総会後、決算情報「2018年度決算について」を7月12日に公表した。市は定期的に北総鉄道と意見交換できているのか。

答弁 利用する市民の皆様からの要望を多くいただいているので、運賃値下げに向け引き続き強く要望していきたい。また、安全性や利便性の向上についても、対話を継続しながら機会をとらえ、要望していきたい。

市長 毎年6月に行われている北総鉄道の株主総会で、北総鉄道の運賃値下げや定期券の割引、さらには、印西牧の原駅から都心方面への速達性の確保について、要望等を行い、引き続き実現に向け、取り組んでいきたい。

再質問 沿線市、千葉県、国と連携して、必要があれば補助金を抛出してでも運賃の適正化に努めるべきだと考えるが、そのような議論は沿線市や千葉県との協議の中では組じょう上に上らないか。

「ほくそう春まつり」の復活について、どのように考えているのか。



答弁 春の恒例イベントとして開催されてきたが、本年については、開催されていない状況となっている。市としては、このまつりが、多くの沿線住民や鉄道ファンが集まり、地域や北総線沿線の活性化にもつながるイベントと認識しているので、開催できるように北総鉄道に要望等をしていきたい。

再質問 北総線1日乗車券の販売時期をどう考えるのか。

答弁 交流人口の増加と沿線地域の活性化にも繋がるものであると認識している。市としても、販売の機会を増やしていただけるよう、北総鉄道にお願いしていきたい。

問 認知症施策推進基本計画の策定は

答 国・県の現状を確認し検討したい

「公明党」浅沼 美弥子 議員



質問1 公明党はすべての人が健康で幸せを実感できる「幸齢社会」を目指している。人生100年時代の高齢者施策、健康施策について、誰でもかかわる可能性のある課題、認知症施策の推進について伺う。

福祉部長 新オレンジプランに基づき、認知症サポーターの養成、認知症初期集中支援チームの設置、認知症カフェ

や軽度認知症の早期発見等取り組んでいる。今後は、令和元年6月に国がまとめた「認知症施策推進大綱」に沿い、認知症の人や家族の視点を重視した取り組みができるよう、国の動向や他市町村の取り組みを参考に取組む。

再質問 大綱では初めて「予防」に重点を置き「共生」と「予防」の二本柱となっている。認知症予防について伺う。

答弁 軽度認知障害を確認できる物忘れ相談プログラムの活用を図り医療につなげられるよう相談体制を整えたい。

再質問 認知症サポーター活躍の場の拡充策について伺う。

答弁 認知症の人のニーズとサポーターをつなげる仕組み（チームオレンジ）の構築、

養成講座の内容の見直し、新講座の開催など体制を整える。

再質問 認知症にやさしい社会を作るため、認知症への理解が必要。バーチャルリアリティ体験ができる機器の活用を検討してはどうか。

答弁 情報収集し機器を利用した事業展開を検討したい。

再質問 印西市認知症施策推進基本計画策定の考えは。

答弁 国では認知症基本法が提出され審議される。国・県の現状を確認し検討したい。

再質問 生活習慣病対策は。健康子ども部長 今年度「ほめてちょけん」という体力テストを活用した健康づくりのモデル事業を実施している。

質問2 防災減災対策について、水害リスクへの備えは。

総務部長 水害想定避難訓練の検討、マイタイムライン策定の普及・啓発に努める。

再質問 受援計画が必要では。

答弁 受援計画は災害対応業務に欠かせないと認識している。整備してまいりたい。



「声の議会だより」の配布を希望される方は、障がい福祉課 ☎0476(33)4639 までご相談ください。

北総線運賃値下げ 全市民の運動で

「日本共産党」 山田喜代子議員

質問1 北総線の高運賃の解消に向けて。北総線が市民の日々の暮らしを脅かしている。親会社である京成電鉄の運輸部門の営業収益も営業利益も前期比で3・4%〜9・3%の増となっている。一方北総鉄道の2019年3月期決算では営業利益43億8千万円、経常利益38億3千万円で累積損失も70億円と縮小し、あと数年で解消出来る段階にきているとされている。2013年3月期には債務超過を解消している。かつて沿線の議員や市民が一体となり運賃値下げの運動を行い10万人の署名を集めた。今も世代

にかかわらず高運賃に市民は泣いている。展望が見えないのだ。市長、議員は勿論のこと職員の間でも全市民に呼び掛け、運賃引き下げの運動を広げるべきではないか。どう考えるか。
市長 高運賃には泣かされている。2019年3月期も赤字で明るい見通しだ。大勢のパワーが必要だ。
質問2 核兵器の廃絶と世界の恒久平和の確立ー平和事業について。来年は非核平和都市宣言から25年、終戦から75年の節目を迎える。他市でも実施している広島・長崎への中学生の派遣事業の実施の考

えはないか。
総務部長 計画していない。



質問3 住宅リフォーム事業の目的は達成されているか。
都市建設部長 定住促進や空き家対策に重点をおいた見直しの検討を考えている。

質問4 非常勤職員の労働環境の改善について。非常勤職員409名のうち女性が350名で86%を占めほとんどが福祉・教育部門で働いている。学童保育指導員や学校図書館司書等の時給は千円にも満たない。どう改善する考えか。
市長 本定例会に上程している条例改正で、改善が図られるものと考えている。

質問5 いこいの湯の早期再開を。女湯だけでも再開できないか。
福祉部長 考えていない。

質問6 いのしし対策としてジビエ料理の活用の考えは。
市長 活用は難しい。

市役所1階行政資料コーナー、市議会ホームページで政務活動費収支報告書が閲覧できます。



お知らせ

個人質問

問 イエローチョーク作戦を始めよう

答 関係部署と調整して検討している

近藤瑞枝議員

質問1 すべての印西市立小中学校普通教室にエアコン設置済みであるが、特別教室への設置率はどうか。

教育部長 約42%である。

再質問 閉校となった学校にある34教室分のエアコンを、特別教室に移設できないか。
答弁 新設するより経済的に不利になる等、優位性は低い。

質問2 住民自身が地域活動を行うことはコミュニティ醸成にも有効である。5月30日頃実施するゴミゼロ運動の要領で、9月30日頃に「草ゼロ運動」を実施してはどうか。
都市建設部長 非常に有意義ではあるが、車道近くの作業は危険性も懸念される。

再質問 では、ゴミゼロ運動と併せて、危険のない範囲で草ゼロも行ってはどうか。
答弁 協働事業として実施可能か、関係部署と協議する。

質問3 地域猫不妊去勢手術



助成金制度の周知のため、印西市作成のパンフレット配布が必要ではないか。

環境経済部長 現在検討中。

再質問 土地管理者の同意が得られない場合は特別に要綱等を検討するべきではないか。
答弁 管理者と調整のうえ対応を検討している。

再質問 放置された犬の糞害対策「イエローチョーク作戦」に早急に着手してはどうか。
答弁 滝野地区において一定

の効果があったと聞いている。現在、方針を検討している。

個人質問

問 計画的なグリーンベルト整備は

答 効果的に実施していきたい

海老原作一議員

質問1 歩道のない生活道路における歩行者の安全確保は。

都市建設部長 交通弱者である歩行者の安全確保は、大変重要であると考えている。

再質問 歩道の整備をどのように推進しているか。
答弁 歩道整備の重要性の認識はあるが、用地確保などの課題があり、なかなか進まない状況である。

再質問 グリーンベルトの整備は、交通規制・指示が伴うか。
答弁 伴うものではない。

再質問 グリーンベルトの整備に係る費用は。
答弁 施工規模にもよるが、1平方メートルあたり1万円程度の予算が必要である。

再質問 通学路指定の市道には、複数年かけてでも計画的に整備していくべきでは。
答弁 グリーンベルト整備は、効果的に実施していきたい。

効果的に実施していきたい。

質問2 公共下水道区域外流入の取り扱いは。
都市建設部長 原則として、使用開始区域外では利用できないが、一定の要件を満たした場合、管理者は接続を許可できると規定されている。

再質問 印西市公共下水道区域外流入審査基準は要綱か。
答弁 課内内規である。

再質問 内規は公開されているか。
答弁 公開していない。

再質問 公開する考えは。
答弁 他市状況を勘案し、要綱等での公開の対応をしたい。



段差のある路側帯

個人質問

問 小学校英語等必修化へ準備体制は

答 A L T 13人体制等準備進める

松尾 榮子 議員

質問 1 2020年度から小学校の英語教科化が始まる。どの小学校に通っていても同様に英語に親しみ、楽しく学び、力が身に付く環境の整備が必要。A L T (外国語指導助手)、英語教育コーディネーターは、新年度から目標数の人員を配置する予定か。



環境経済部長 一部の観光案内板には絵文字等で表記されている。ない所については掲載情報を刷新する機会に表示方法などを検討していく。

個人質問

問 教育用コンピューター端末整備は

答 国の整備方針に従い整える

藤江 研一 議員



質問 1 令和2年4月開園予定の認可保育所5園の名称、所在地は。

質問 2 教育用コンピュータの整備状況は。

質問 3 次期総合計画、地域公共交通網整備計画は、超高齢社会への対応、交通弱者への対応、高齢による免許返納者増加への対応を考慮したも

企画財政部長 超高齢社会の到来など様々な課題を分析し、それに対応する施策を展開していく予定。

個人質問

問 市ホームページ改修の取り組みは

答 来年3月にリニューアルを予定

松本 有利子 議員

質問 ホームページリニューアルに向けての取り組みは、進んでいるか。



現行の印西市ホームページ

答 再質問 データの改ざんや、情報漏えいなどを防ぐため、市公式ホームページの全ページで、通信の暗号化に対応する予定でいる。

再質問 スマートフォン用のページについてのご意見は。

再質問 スマートフォン用ホームページにおいてもパソコン版同様、防犯や休日診療情報等の「安全・安心情報」を一目でわかる場所に置いてはどうか。

個人質問

問 第2次基本計画の道路整備計画は

答 早期完成に向け整備工事を進める

小川 利彦 議員

質問 1 計画の市道の状況は。

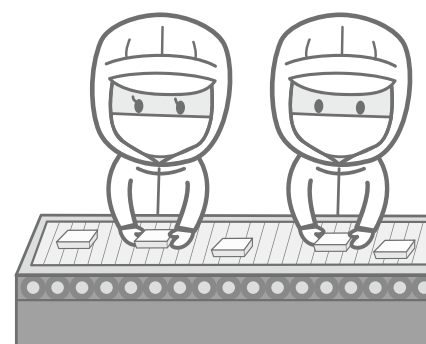
再質問 保護者の意見は。

再質問 早期完成に向け整備工事を進める。



問 特例子会社の誘致の考えは

答 現在は考えていない
梶原 友雄 議員



質問1 印西市における過去5年間の障がい者雇用人数は。総務部長 平成27年度19名、28年度20名、29年度21名、30年度21名、令和元年度23名の任用となっている。

再質問 法定雇用率は達成しているか。
答 平成27年度の報告において、市長部局が未達成となったが、28年度以降は、市長部局、教育委員会ともに達成している状況である。

再質問 法定雇用率は達成できているが、何年も雇用率が上がっていないのは、雇用率ありきの任免ではないのか。
答 障がい者の方の雇用にあたっては、能力に応じた適正な職場を提供し、障がい者の方の雇用の安定が図れるよう努めている。

再質問2 企業誘致、雇用先開拓の際は建物のバリアフリー化のお願いはしているか。
福祉部長 企業誘致促進条例において、17の事業者指定を行ってきたが、これら指定業者に建物のバリアフリー化のお願いをした実績はない。しかし、大規模小売店舗法、工場立地法等の届出の際に、障がい者雇用の観点から、建物のバリアフリー化実施のお願いをしていきたい。

再質問 特例子会社の誘致は考えているか。
答 現在は考えていない。

個人質問

印旛沼公園下の市有地の今後

櫻井 正夫 議員

質問 令和元年第2回定例会で質問をした印旛沼公園下の市有地は、どのような活用ができるか調査・研究を進めるとの答弁だったが、その後の進捗状況を伺う。

環境経済部長 当該市有地の活用に関しては、類似する近隣の事例等について電話による聞き込みをしている。今



後は長期的な視点に立ち、農地として貸し出すこと等を含め、開発行為の可能性について引き続き研究し効果的な活用方法を検討する。

再質問 佐倉市のチューリップ畑に対抗できるバラやひまわり等を植えて、市有地に沿って船着場を整備して佐倉市のチューリップ農園と往來するような構想を考えて市有地の活用が出来れば良いと個人的に思っているが、市として農地の保有は法的に問題ないか伺う。

答 当時の印旛村で村の花に指定した「ヤマユリ」の試験場として農地法等に基づく適正手続きを経て所有したものである。その後「ヤマユリ」の試験事業が終了し、他の活用ができないまま現在に至っている。市が農地を保有していることは法律上問題ないものと認識している。

個人質問

問 小林駅南口線の進捗状況は

答 用地取得に努めていく
米井 重行 議員

質問 都市計画道路3・4・11号小林駅南口線で一部狭隘な部分があり、子供たちの通学時等危険な箇所がある。用地買収ができていない部分だけでも暫定的に拡幅するなど、交通の安全面から対応ができないものか。

都市建設部長 狭隘となっている部分で、県道の拡幅用地が確保済みとなっている箇所



での対応については、印旛土木事務所と協議していく。
再質問 市道00-031号線は、千葉ニュータウンの印西牧の原駅圏とJR成田線小林駅圏を結び、市内南北を連結する幹線道路である。また、交差点部から小林駅南口前広場までをつなぐ都市計画道路3・4・11号小林駅南口線は、小林地区に大変重要な路線である。市の事業として進めている小林小学校から大門地先の交差点部までの、市道00-031号線と、この都市計画道路3・4・11号とが接道する交差点部の用地交渉が前進すれば、小林地区の皆様の永年の悲願である両路線の事業の進捗が大きく見込めることになる。市の考えを伺う。

答 交差点部の用地交渉が前進すれば、市道00-031号線の事業が進捗するものと考えている。

個人質問

問 小規模農業に対する市の対応は

答 今後も良い方向に向けて検討する
伊藤 真一 議員

質問 国連が昨年末、2019年から2028年を「家族農業の10年」に指定し、国際社会が小規模家族農業の重要な役割を認識、支援することを呼びかけた。平成31年第1回定例会で「農機具への補助を検討する」との答弁だったが、その検討内容を伺う。

環境経済部長 近隣の市町の状況を調査しても、すべての農家に補助をしているところはない。よって、市の単独補助事業を行う考えは現段階ではない。

再質問 近隣の市町がしていないから、印西市もしないというスタンスなのか。

答 参考とした近隣市町の状況によって、補助事業を行うかどうかを決定するものではない。

再質問 「家族農業の10年」がなぜ始まったかを考える必要がある。効率優先を求める

ことではなく、家族農業・小規模農業の持っている多面的な機能を本当に機能させて、地球にとっても市民にとっても、すごく大事なことだという事を改めて受け止める必要があるのではないか。
市長 私も今のままでは、日本の農業が大変な事になると思っている。これからどうすれば良いのか、研究する必要があると思っている。
環境経済部長 今後も引き続き検討していく。



都市型交通網ビジョンの策定は

個人質問

柿原健一 議員

質問 公共交通機関使用の目的地調査を実施しているか。

企画財政部長 地域公共交通連携計画策定に際し、平成22年に市民アンケートを実施し、地区別に移動の目的地と交通手段について調査した。

再質問 市内の鉄道各駅に向かう市民が費やす最長時間距離を把握しているか。

再質問 把握していない。乗用車使用の市民が利用駅付近の駐車場について、不満を持っているか。

再質問 担当課に駅付近の駐車場関連の意見は入っていない。

再質問 市内各地区を結ぶ基本幹線と定期的交通機関網の基本プランはあるか。

再質問 現時点では策定されていない。

再質問 定期的公共交通機関網の基本プランについて必要性が有ると考えるか、無いと考えるか。

答弁 印西市地域公共交通網形成計画を策定する中で、策定メトリックや必要性を研究していく。

再質問 都市交通システムの研究や新交通システムの導入についてどのように考えるか。

再質問 現在のところ考えていない。

再質問 都市交通システムを構築するための計画や研究は不可欠と考えるがどうか。



市内交通事業者や有識者の意見を伺いながら多角的な視点で研究する必要がある。

本会議での討論(要約)

議案第15号
安倍政権は社会保障の財源として国民に消費税増税を押しつけてきた。社会保障は良くなるどころか増税前よりすべて国民の負担増になっている。保育料の無償化というなら給食費も無償化すべきだ。

賛成

木下駅南口の日本デキシ1跡地を先行取得のために、8億5千万円を予算化した。具体的計画がない。衰退の一途をたどる駅周辺の賑わいや活気を取り戻す、地域活性化の起爆剤とすることを前提に賛成とする。

消費税率引き上げは、赤字国債発行抑制と社会保障制度を全世代型に拡充するため必要。本件は、認可外保育施設等の無償化経費、民間保育園の助成経費等について補正予算を組むものであり、賛成。

認定第1号
実質収支比率は、県内でも3位の高さだ。財政調整基金も年々増え続け94億円にも達している。予算と決算の差額である不用額は15億円もある。使われず残った人件費の一例として作業療法士の確保が出来ず予定の半分の実績となった。福祉・教育に携わる非常勤職員の労働を改善することが急務である。

賛成

持続可能な財政運営を評価する。人口が10万人に達し、シティプロモーション事業等も着実に予算執行し、市の認知度も上がった。財政運営では、実質収支約21億8487万円の赤字、うち11億円を財政調整基金に繰り入れるなど、市職員の不断の努力により健全な財政運営が行われていることを高く評価する。

令和元年第3回定例会 議案と審議結果一覧

※○=賛成、×=反対、退=退席、欠=欠席、除=除斥(地方自治法の定めにより本人等が関係する議案の採決に加われません。)、—=その他
※議長(板橋 睦)は採決に加わりません。

番号	件名	議決結果	板橋睦	近藤瑞枝	山田喜代子	金丸和史	軍司俊紀	松尾榮子	増田葉子	藤代武雄	中澤俊介	海老原作一	岩崎成子	浅沼美弥子	櫻井正夫	米井重行	玉川利彦	小川利彦	稲葉健	伊藤真一	松本有利子	藤江研一	梶原友雄	柿原健一	
《議案》(市長提出議案)																									
議案第1号	印西市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第3号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第5号	特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第15号	令和元年度印西市一般会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第16号	令和元年度印西市下水道事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第1号	平成30年度印西市一般会計歳入歳出決算認定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第2号	平成30年度印西市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第4号	平成30年度印西市介護保険特別会計歳入歳出決算認定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第5号	平成30年度印西市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

令和元年第3回定例会 全会一致(可決・認定・同意・適任)議案一覧

番号	件名	番号	件名
《議案》(市長提出議案)			
議案第2号	印西市印鑑条例の一部を改正する条例の制定	議案第19号	印西市道路線の変更
議案第4号	公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例の制定	議案第20号	印西市道路線の廃止
議案第6号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定	議案第21号	印西市道路線の認定
議案第7号	印西市手数料条例の一部を改正する条例の制定	議案第22号	工事請負契約の変更
議案第8号	印西市歩行喫煙、ポイ捨て等防止条例の一部を改正する条例の制定	議案第23号	印西市立保育園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定
議案第9号	印西市が管理する市道の構造の技術的基準を定める条例の一部を改正する条例の制定	認定第3号	平成30年度印西市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定
議案第10号	印西市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定	認定第6号	平成30年度印西市水道事業会計決算認定
議案第11号	印西市消防団の設置、消防団員の定員、任免、服務等に関する条例の一部を改正する条例の制定	同意第1号	印西市固定資産評価審査委員会の委員の選任につき同意を求めること(坂巻 栄一氏)
議案第12号	印西市立幼稚園保育料等に関する条例の一部を改正する条例の制定	同意第2号	印西市教育委員会の教育長の任命につき同意を求めること(大木 弘氏)
議案第13号	印西市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定	同意第3号	印西市教育委員会の委員の任命につき同意を求めること(大野 忠寄氏)
議案第14号	印西市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定	諮問第1号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めること(中嶋 加奈江氏)
議案第17号	令和元年度印西市介護保険特別会計補正予算(第2号)	諮問第2号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めること(伊賀崎 真理子氏)
議案第18号	工事請負契約の締結	《発委》(委員会提出議案)	
		発委第1号	印西市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定

陳情

陳情第1-4号
▼米軍普天間飛行場の辺野古移設を促進する意見書に関する陳情(議員配布)

宜野湾市民の安全な生活を確実に守るには、ひとえに米軍普天間飛行場を辺野古地区に移設するしかない。については、国等関係機関に対し、米軍普天間飛行場の辺野古移設を促進する意見書を提出するようご配慮願いたい。

陳情第1-5号
▼東海第二原発の再稼働に反対し廃炉を求める要請(議員配布)

東海第二原発の再稼働に断固反対し、速やかに廃炉を決定すべきことの国会・政府に対する意見書を可決、もしくは決議を行っていただきたい。



総務企画常任委員会



会計年度任用職員へ移行 そして、処遇改善へ

【議案第1号 印西市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定】

【内容】地方公務員法及び地方自治法の一部を改

正する会計年度任用職員制度の創設に伴い、会計年度職員の給与等に関する必要な事項を定める。

問 常勤職員との制度上の違いはどうか。

答 管理職手当、扶養手当、住居手当、勤勉手当が支給されず、地域手当、宿日直手当は、フルタイムの会計年度任用職員に支給される。また、休暇制度は、規則の制定に向けて調整をしている。

問 非常勤職員の全員が会計年度任用職員に移行するのか。

答 現行の一般職の非常勤職員のほか、労働性の高い一部の特別職の非常勤職員が移行する予定である。

【議案第2号 印西市印鑑条例の一部を改正する条例の制定】

【内容】住民基本台帳施行令の一部改正により、氏の変更があった者につき、住民票に旧氏の記載が可能となり、その場合における印鑑の登録に関する、所要の規定整備をする。

問 印鑑登録において、旧氏の記載がされるのか。

答 本人の申し出により、住民票に旧氏の記載が可能となり、印鑑登録の証明書の交付についても、旧氏が現在の名前の下に表示される。

【審査結果】

番号	件名	結果
議案第1号	印西市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定	可決
議案第2号	印西市印鑑条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第3号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第4号	公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第5号	特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第6号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第11号	印西市消防団の設置、消防団員の定員、任免、服務等に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決

各常任委員会の審査

印西市議会では、すべての議案を委員会に付託し審査することを原則としています。9月18日に総務企画常任委員会、8月30日、9月19日に文教福祉常任委員会、9月20日に建設経済常任委員会をそれぞれ開催しました。委員会で行われた議案に対する主な質疑及びその答弁の一部を掲載します。

市文化ホール・大森図書館 大規模改修工事を契約

各常任委員会の審査

文教福祉常任委員会

【議案第18号 工事請負契約の締結】

【内容】印西市文化ホール・大森図書館大規模改修工事について、令和2年9月18日までに工期として、15億4千万円で工事請負契約を締結する。

問 今回、入札において調査基準価格を下回り、低入札価格調査を行ったとのことだが、具体的な内容は。

答 当価格で入札した理由を具体的に伺い、合理性を確認した。当該工事の近隣で他の事業を実施していることや場所等の

地理的条件、資材の購入、下請業者との関係、手持ち機械の状況、労働者の供給見通し、過去の工事実績、決算報告などの経営状況から総合的に、当工事の履行に問題ないと確認した。

問 大規模改修に市民の要望は反映されているか。

答 利用者アンケートを実施した中で、トイレ洋式化の要望が多くあり、今回の改修で改善予定である。



市文化ホール・図書館で現地確認

答 外壁、防水、空調、照明など全体的に改修を行うので、20年以上は使用できると考えている。休館中の利用者への対応は、開館時期や予約受付の時期等逐一説明を行っている。

【審査結果】

番号	件名	結果
議案第12号	印西市立幼稚園保育料等に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第18号	工事請負契約の締結	可決
議案第22号	工事請負契約の変更	可決
議案第23号	印西市立保育園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決

千葉ニュータウン中央駅付近は 全面禁煙に

建設経済常任委員会



【議案第8号 印西市歩行喫煙・ポイ捨て等防止条例の一部を改正する条例の制定】
【内容】重点区域内の指定喫煙場所を廃止し、重点区域内での喫煙を全面的に禁止するものほか、所要の改正を行う。

問 これまで、どんな苦情があったか。

答 指定喫煙場所の近くを通る方から、なおに対する苦情が寄せられている。

問 においの出ない電子たばこもあるがどうか。

答 電子たばこについても、少ないが煙が出ていることから苦情があった。

問 ポイ捨てゴミが増える可能性から、指定喫煙場所の廃止を前提ではなく、煙やにおいが外に漏れないような対策をする等、違う方法が考えられないか。

答 市では受動喫煙への対応として、

公共施設敷地内を全面禁煙としており、受動喫煙の対応として違う手立ては考えていない。

問 条例改正の理由に市民の清潔で快適な生活環境とあるが、いかにもたばこが汚くしているという文言で、喫煙者に対して配慮がなくて良いと考えるがどうか。

答 たばこが汚いというのではなく、清潔の趣旨として清潔の保持というものである。

【審査結果】

番号	件名	結果
議案第7号	印西市手数料条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第8号	印西市歩行喫煙、ポイ捨て等防止条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第9号	印西市が管理する市道の構造の技術的基準を定める条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第10号	印西市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第13号	印西市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第14号	印西市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第19号	印西市道路線の変更	可決
議案第20号	印西市道路線の廃止	可決
議案第21号	印西市道路線の認定	可決

北総地区 市議会正副議長会 議員研修会

令和元年10月18日（金）
銚子市において、千葉県北総地区市議会正副議長会議員研修会が開催され、印西市議会から16名の議員が参加しました。

講師は、星野智子氏で、「SDGs（持続可能な開発目標）」についての講演がありました。



中央大学の学生が ヒアリング調査に来庁

令和元年7月30日（火）、中央大学関ゼミナールの関教授と学生7名がヒアリング調査に訪れました。内容は、「市町村合併と市民生活の変化について」でした。藤代議員と近藤議員が対応しました。



福島県湯川村議会 視察に来庁

令和元年10月17日（木）、福島県湯川村議会総務文書常任委員5名が視察に訪れました。視察内容は、「小中学校統廃合の取り組みについて」でした。近藤副議長から歓迎の挨拶、学務課の担当者が事業説明を行いました。

表紙の写真



空手チーム千志館の練習風景です。

空手を上達させたい人、健康を維持したい人、護身術を学びたい人、親子で共通のスポーツをしたい人。そんな様々な目的（志）をすべて受け入れ、尊重し、楽しみながらも真摯に空手に向き合っており、心身を鍛える。そうして各々が日々の社会生活や学校生活において自信と活力を持つことができれば、素晴らしいことだと思います。蹴りを決めた少女の笑顔が格別です。

編集後記

本号が、令和元年最後の議会だよりになります。本年は四月の統一地方選に始まり、五月に元号が平成から令和に、そして、十月には消費税が8%から10%に変更になるなど、いろいろと変化に富んだ年となりました。さて市民の皆様には、「伝わる議会だより」を目指して発行しておりますが、特に「市民の声」の欄を注目して頂ければ幸いです。選挙権を持つにふさわしい内容だと思います。

委員長	近藤 瑞枝
副委員長	海老原 作一
委員	梶原 友雄
委員	藤江 研一
委員	伊藤 真一
委員	稲葉 健
委員	増田 葉子

『印西市の発展と
これから』

印旛明誠高等学校

3年 石田 惇将
いしだ あつゆき



私は小さい頃から印西市に住んでいる。小さい頃の町並みを思い出すと、今は全然違っていた。周辺には家や建物はほとんどなく、空き地や野原が広がっていた。テレビで特集されることもある大型ショッピングモールも、もちろんなかった。それが長い年月を経て、少しずつ変わってきたのだ。私はこの変化を少しだけ残念に思っている。昔は自

由に走り回った野原は住宅地に変わってしまった。よく母と共に買い物に行ったスーパーは閉店し、大型ショッピングモールになってしまった。思い出の景色は、少しずつなくなっていくってしまった。しかし、それ以上に印西市が発展していくことを嬉しく思う。昨年までは、住みよきランキングで一位をとり続けていた。先日には人口十万人記念の祭りを行っていた。それでもまだ住宅地の建設は盛んに行われている。これから先も、まだまだ印西市の発展は止まらず、より活気づいていくだろう。

十年後、二十年後にはどれだけ発展しているかわからない。それでも、どのように変化していったとしても、印西市は私の誇りの故郷になることは間違いない。印西市がこれからも発展していくことを、心から願っている。

議会を傍聴してみませんか

第4回定例会 会期予定及び日程

第4回定例会は、11月29日(金)から12月20日(金)までの会期予定です。

本会議は午前10時からとなりますので、市役所5階議場にお越しください。

なお、都合により変更になる場合があります。

詳細については、議会事務局までお問い合わせください。

【印西市議会事務局】
☎ 0476(33)4614

日	月	火	水	木	金	土
11/17	11/18	11/19	11/20	11/21	11/22 議会運営委員会	11/23 勤労感謝の日
11/24	11/25	11/26	11/27	11/28	11/29 本会議 (議案上程)	11/30
12/1	12/2 本会議 (個人質問)	12/3 本会議 (個人質問)	12/4 本会議 (個人質問)	12/5 本会議 (個人質問)	12/6 本会議 (個人質問)	12/7
12/8	12/9 予算審査 常任委員会	12/10 文教福祉 常任委員会	12/11 建設経済 常任委員会	12/12 総務企画 常任委員会	12/13	12/14
12/15	12/16	12/17	12/18	12/19 議会運営 委員会 正副委員長会議	12/20 本会議 (議案の採決)	12/21



いんざい君 © 2011 Inzai City